



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
www.3-net13.hakusan.ed.jp/kiba-e

令和5年11月 21日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
e-kiba@kec.hakusan.ed.jp

学びを生かして(発信の場の創出)



「みんなの木場湯～私たちにできること～」をテーマに総合的な学習を進めてきた4年生は、「はす池伝説」「生き物」「植物」「水質」の4つで学びをまとめました。そして①校内で他学年の子ども達や地域の皆さんに ②児童発表会で他校の子ども達に ③木場湯東園地で学びを支えてくださった皆さんに 対して発信をしました。

再開園した東園地には10日、東園地の職員だけでなく、木場湯公園の方、星の城プロジェクトや木場湯再生プロジェクトの皆さんが集まってくれました。東園地で指導をしてくださっている内藤さんが、発表の後「東園地において里山にはとても

詳しいのだが、皆さんの発表を聞いて木場湯の水辺に関することがよく分かった。」と言ってくれました。木場小学校はSDGsの中でも「⑪住み続けられる町づくりを」「⑮陸の豊かさを守ろう」に重点を置いた学びと活動をしています。子ども達の発表を通して活動を知ってもらうことは、子ども達に活動に対する満足感を持たせてくれます。また多くの皆さんに認められ励ましていただくことは、子ども達の次の学びのエネルギーとなります。こうして発信の場を持てたことをありがたく思います。

みんなで作る授業

5年生が「2学期以降目指す授業の姿」をデモンストラレーションで示してくれました。劇を見た他学年からは「友だちの考えに反応している」「ちょうどいい声の大きさだ」「全員が手を挙げている」など良さを見つける発言があり、子ども達自身に自分達で作る授業のイメージがあることをうれしく思いました。劇をした5年生からはペア・グループ活動では「①すぐに話し始める」「②反応や質問をする」「③みんなで考えを出し合う」「④みんなが分かるまで話し合う」「⑤話し合った後は全員が手を挙げる」の5つの提案があり、みんなで頑張ろうという気持ちを盛り上げてくれました。研究主任からは「どうしてそう思ったの?」「どこからそう思ったの?」を言い合える授業づくりをしましょうとの話があり、早速4年生が「子ども授業参観」として、5年生の授業の様子を見に行きました。掲示板には「授業づくりのめあて」として各月の取組の様子が掲示されています。みんなでよい授業を作り、よい学びを積み重ねていきたいものです。



ピュアキッズスクール

1日、小松警察署生活安全課の警察官と共に、「犯罪」について学ぶ「ピュアキッズスクール」を実施しました。2年生は「人の物をとると・・・」、5年生は「人を傷つけると・・・」をテーマに、事例を基に主人公や主人公の家族、相手や相手の家族の気持ちを考えました。素直な気持ちを話す子ども達でしたが、警察官から、「それらの行動は犯罪となり、警察に来てもらうことになるのだ」と話を聞き、驚きの表情を見せていました。自分のことだけでなく相手や家族、周囲の人々の気持ちを考えて行動できる木場っ子であってほしいと願います。



器械運動教室（鉄棒運動）

1日、K'S体操クラブから2人の先生をお招きし、3、4、5年生が器械運動教室を行いました。器械運動教室は毎年行っていますが、「跳び箱運動」「マット運動」「鉄棒運動」うち1種目ずつの実施になります。そこで本校では在校中に1度は指導を受けられるよう、今年度から3学年で行うことにしました。準備体操に続いて「つばめ」「前方支持回転」「逆上がり」と次々に取り組みましたが、恐怖心や苦手意識のためにしり込みする子もいました。自分の高さにあった鉄棒を使い、アドバイスや励ましの言葉をもらったり補助をしてもらったりする中で、次第に意欲が高まり、より高度な技ができるようになったり、よりきれいに滑らかに技ができるようになったりする子が続出しました。子ども達は、楽しさと達成感を味わうことができ、授業中はもちろん休み時間も鉄棒カードを手に積極的に鉄棒に取り組んでいます。



木の名札をつけよう

150周年の年にかなえたいことの一つとして4年生があげていた「木に名札をつけよう」が16日に実現しました。1人1枚ずつ書いたプレートの下にはキバシカのスタンプが押してあります。「150周年の年、自分がこの札をつけた」という確かな記憶を残してくれることを望みます。



地域功労賞



図書ボランティアの片山口口さんが、5日に行われた「第66回小松市PTA研究大会」で、『地域功労賞』を受賞されました。毎週金曜日の朝、図書ボランティアとして学校に来てくださり読み聞かせをしてくださっています。20年近い活動ですので、学校にいる子ども達や兄弟だけでなく、保護者の中にも片山さんの読み聞かせを聞いて子ども時代をすごした方がいらっしゃるのではないのでしょうか。学校としても感謝の気持ちでいっぱいです。

12月1日は個人懇談です。案内にもありましたように、担任だけでなく、養護教諭やスクールカウンセラー等専門的な立場からお話ができる職員もおりますので、お子さんのことで気になることがありましたらお知らせください。勤務の関係上、調整させていただく場合がありますので、事前にお知らせいただくと助かります。